

E-Ladies

電気工事業で輝き、活躍する女性

北陸でも電気工事の
そんな“E-Ladies”に

技術者として活躍する女性が増えています。
お話を聞きました。

VOL.3
TOYAMA
LADY

女性も個性を発揮できる。

そんな業界だと伝えたい。

笹嶋工業株式会社 北島 美喜
配電工事部 係長 MIKI KITAJIMA

幅広い業務を経て感じる、
女性にとっての可能性。

富山県南砺市の建設会社、笹嶋工業に勤めて23年になります。大学で建築を学び、地元の企業に就職したいと考えたのが入社のかきかけでした。

入社当初は土木部に所属し、その後建築部門の営業となり、さらに太陽光発電が普及しはじめたのに合わせて、その営業もするように。2012年には会社の組織変更に伴って、配電工事部に異動となりました。いろいろな部門での経験を経て、現在は施工管理をはじめさまざまな事務作業、営業活動、会社の採用活動や広報活動にも携わっています。



日々幅広い仕事に携わっていると、「建設業には女性を活かせる業務がたくさんある」と感じます。建設業が一般的に持たれているイメージはやはり男性社会で、確かに男性が多い環境ではあるのですが、本当は女性にとっても多くの選択肢がある業界だと思うんです。

採用活動の中で、地域の高校生の皆さんが企業見学に訪れることがあります。見学先の企業は生徒の

意志ではなくあらかじめ決められているため、「建設業への就職なんて考えたこともない」という女子生徒もやってきます。はじめは建設業のことをほとんど知らない子も、いろいろな業務があることや私自身が感じているやりがいなどを話すと、興味を持ってくれることも多々あるんです。

「女性だから」ではなく
「その人」に向く業務を。

「女性が活躍できる業界に」とよく言われますが、当の女性たちにはまだまだ理解されていない業界なのではないでしょうか。まず大切なのは、どのような業務



があるのかを知ってもらいたいと思います。男性と同じ仕事で張り合わせるのではなく、女性の感性やその人の個性を活かせる仕事をしてみようという視点が必要で、そのためにもどのような仕事があるのか、どんなことで活躍できるのかを発信していくことが重要なのだと思います。

私自身は、以前土木工事の施工管理をしていたこともあって書類作成が得意です。現場代理人としてもやりがいを感じます。また職人気質の方が多く環境で、職人さんと若い世代のコミュニケーションを円滑にする役割を果たしたいとも考えています。

どんな仕事に魅力を感じるか、どんなことにやりがいを見つけられるかは、同じ女性であっても人それぞれのはずです。現場でも、監督でも、CADオペレーターでも、建設業にはその人が望む仕事ができる可能性があることを、これからも発信していきたいと思っています。

私のオフの過ごし方

子供たちとの時間を楽しんでいます。一緒に家庭菜園の収穫をしたり子供のスポーツを観戦したりして過ごします。



笹嶋工業株式会社 笹嶋 一昭
専務取締役 KAZUAKI SASAJIMA

建設業界が忙しかったバブル期に、人材確保のために女性技術者の求人を出したものの応募がなかったという経験があり、その頃からこれからの業界における女性の必要性を考えるようになりました。以来、当社では合計8名の女性技術者を新卒採用してきました。

女性が活躍できる環境をつくるためには、ふたつのことが特に重要だと私は考えています。ひとつは「適材適所」です。女性だから特別扱いをするのではなく、その人の能力や資質に合わせた業務を用意することで、生産性の向上といったメリットが生まれます。

もうひとつは、「正当な評価」です。男性社会で働く女性は正しく評価されにくいという現実があるのではないのでしょうか。また、周囲が「女性だから甘やかされている」と不平不満を持ってしまうこともあるかもしれません。そうならないために、上司は女性社員本人や周囲と密にコミュニケーションを取り、あるいは女性のワークライフバランスについて周囲の理解を促して、皆が力を発揮できる環境を作っていく必要があると思います。

これからも建設業界が女性にとっても魅力的な仕事となるよう努力を続けていきたいと考えています。



富山県南砺市の総合建設会社、笹嶋工業株式会社。現在は4名の女性技術者が活躍している。



昨年移転した新社屋にはコミュニケーションコーナーや女性専用のリラクゼーションルーム等を完備。